

つながる すみだ人

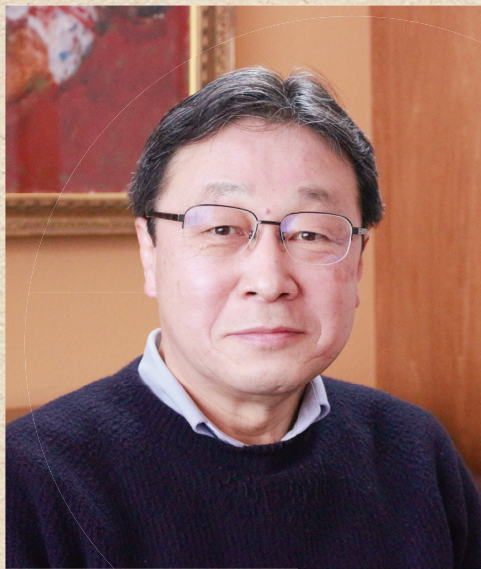
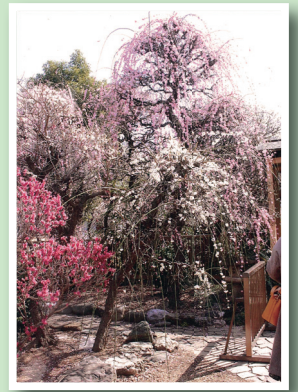
私の好きな すみだ

今月の1枚

【香取神社の梅】

【撮影】岡本郁雄さん

本コーナーへの写真を随時募集しています。詳細は区ホームページをご覧ください。
【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



岸 成行さん(亀沢在住)

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながる すみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人をつないでいきます。第51回は、建築士で、北斎通りまちづくりの会や亀沢地区建替え調整協議会、墨田区景観審議会などで活動されている岸 成行さんです。

Q. すみだでどのような活動をしていますか？

北斎通りまちづくりの会の会員や亀沢地区建替え調整協議会の代表など、亀沢地区のまちづくりに関わる活動をしています。また、墨田区景観審議会委員、亀沢四丁目町会副会長も務めています。

北斎通りまちづくりの会は、北斎通り周辺の景観づくりと活性化を地域住民が考え、主体的に活動するために設立された団体です。その活動の一つ、「亀沢地区建替え調整協議会」は、亀沢地区での建築計画の際に、事業者が地域に行う事前説明の受け皿に

なると同時に、地域からは事業者へ意見やまちの雰囲気等を伝えることで、より良い地域環境づくりに向けての意識を共有する場となっています。

また、北斎通りで毎年秋に開催する「北斎祭り」では、弘前ねぶたを運行するなどの様々なイベントを行い、大勢の来訪者で賑わいます。ほかにも地域誌の発行やシンポジウムの開催など、様々な活動が評価され、北斎通りまちづくりの会は令和2年度都市景観大賞を受賞しました。

Q. 現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

生まれも育ちも亀沢で、子どもの頃はいわゆる下町の風景に囲まれて育ちました。大学では建築を学び、卒業後は10年ほど建築設計事務所に勤め、その後独立して自分の事務所を開きました。その一方で、生まれ育ったすみだのまちづくりに関わりたい気持ちもあり、墨田区景観審議会や都市計画マスタープラン検討委員会の委員を務めていたところ、北斎通りまちづくりの会のメンバーの方から声を掛けていただいたのがきっかけです。

まちづくりと言うと、住宅地域や商業地域等

のように区域分けして整備するイメージがありますが、私はむしろ、住商工が共存していて、その中で人々が緩やかなルールを作って心地よい距離感で暮らしていくことが、活気があって暮らしやすい、新しいまちづくりだと思います。ですから、いろいろなものが混在した暮らしの景色が残るすみだは、実は最先端の暮らしやすいまちなのではないかと考えています。人々の日常の営み、「生活景」を大切にしながら、新しい住民にも開かれたまちづくりを心掛けて、地域での活動を行っています。

Q. 岸さんは、すみだのどんなところが好きですか？

昔は、きれいに整備されたまちに住みたいと思ったこともありましたが、様々な経験や人々との交流を重ねるうちに、混在するすみだの良さが見えてきて、私のまちづくりの考え方にも

影響を与えてくれました。今では、新しい人や子どもの世代にも住み続けてほしいと思うほど、すみだの風景が好きです。自分の住むまちを好きになると、日々の暮らしが楽しくなりますね。



「北斎祭り」での弘前ねぶた。すみだ北斎美術館が弘前藩上屋敷の跡地に建設されたことからつながりが生まれ、実現しました。



▶ 景観を整える試みとして、北斎通りにフラッグを取り付けた様子。同時にアンケートや意見交換会も行い、地域ぐるみで景観を考えています。

次回登場してくださるのは・・・

八広で地域のかかりつけ医として診療所を営んでいる平野仁志さんです。

【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



夢

未来の“すみだ”に投資する予算

墨田区長

山本 亨

去る1月30日、「令和5年度墨田区予算案」を発表しました。予算案の概要は、今号1面でご紹介していますので、ここでは、予算案に込めた私の思いをお話します。

令和5年度予算案は、「誰もが主役 挑戦・活躍・輝けるまち 未来の“すみだ”に投資する予算」と位置付けました。令和5年度は、感染症対策をはじめとした区民の安全・安心の確保に努めるとともに、コロナ禍からの社会経済活動の回復を確かなものとする必要があります。そこで、墨田区基本計画に掲げた取組を着実に実施することで、すみだらしい、ともに支え合うまちづくり(すみだ型共生社会)を推進し、持続可能な“すみだ”の実現に向け、区

政運営を行っていきます。

一方、現在の区政においては、一層進展する少子高齢化への対応として、子どもを安心して産み育てられる環境の整備など、子育て支援の充実を図ることが重要です。また、関東大震災から100年の節目を迎え、多様な主体との連携による地域防災力の向上、地域福祉やコミュニティを支える担い手の育成など、誰もが安心して、いきいきと暮らし続けられるまちづくりを着実に進めていきます。

そして、新たな予算には「すみだで暮らす人、働く人、訪れる人」誰もが主役であり、挑戦・活躍・輝ける未来を切り拓く取組をさらに加速するとともに、10年後、20年後のまちの姿・

将来像を見据え、“すみだらしさ”を次世代に継承していく、という思いを込めています。

これからも、人と人のつながりを大切にしながら、持続可能なすみだの未来に向けて、「暮らし続けたい、働き続けたい、訪れたいまち」の実現をめざしていきます。



令和5年度予算案記者発表にて

